

実習指導の自己評価に関する研究

【キーワード：臨地実習、実習指導、指導過程、自己評価】

領域・氏名

看護（基礎看護学）助教 / 坂井謙次

概要

臨地実習指導において、学生の関わりが患者にとって看護となるように指導できているかと、指導を自己評価しながらより良い指導となるよう努めることが求められます。諸現象が絡み合う実習状況において、どのように自己評価することがより良い指導につながるかについて研究しています。

具体的な内容

これまで、実習指導場面を患者—学生—教員の関係性から見つけ、指導後の学生の変化の意味や教員の指導上の判断について分析、検討してきました。

また、基礎看護学実習の振り返り授業における指導場面における教員の思考を対象に、教員が実習当時の指導を自己評価している思考の特徴を分析し、「実習指導を自己評価するための指針」を抽出しました。

現在は、実習中の指導場面における教員の思考について分析し、実習指導を自己評価するための思考の構造を明らかにしたいと考え、取り組んでいます。

Information (情報)

実習指導の振り返りだけでなく、看護実践の振り返りについての検討において、連携が可能です。